## 平成31年度 大阪大学基礎工学部編入学試験 [ 知能システム学コース専門科目 ] 試験問題

受	験	番	号	志	望	学	料		コ	_	ス	
						111.0000		6147=		学	1	N
										7	-	Z

[知シ専門-1]

問題1

以下の間に答えよ.

(1) 以下の伝達関数 G(s) で表されるシステムについて以下の小問に答えよ.

$$G(s) = \frac{2s - 6}{s^3 + 7s^2 + 19s + 13}$$

- (1-1) 極と零点を求めよ.
- (1-2) インパルス応答を求めよ.
- (1-3). 角周波数  $\omega$  を無限大に近づけたときの位相差  $\angle G(j\omega)$  の極限を求めよ.
- (2) 図1のフィードバック制御系を考える. R(s) とY(s) はそれぞれ目標信号r(t) と出力信号y(t) のラプラス変換であり、K>0 はゲイン補償器のゲイン定数、P(s) は制御対象の伝達関数で

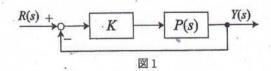
$$P(s) = \frac{(s+1)(s+10)}{s^3}$$

である. 以下の小問に答えよ.

- (2-1) P(s) のボード線図を描け、折れ線近似で描いてよい、
- (2-2) ナイキストの安定判別法を用いて、このフィードバック制御系が安定となる K の範囲を求めよ.
- (2-3) (2-2) で求めた範囲に K があるとする. 目標信号 r(t) が

$$r(t) = t^n$$
 (n は非負整数)

であるとき、目標信号 r(t) と出力信号 y(t) との誤差 e(t)=r(t)-y(t) の極限  $\lim_{t\to\infty}e(t)$  が 0 になるような n の最大値を求めよ.



$$| H3 | = PP$$

$$| (1-1) | G(S) = \frac{2(S-3)}{(J+1)(S^2+6J+13)}$$

$$| G(S) = \frac{2(S-3)}{(J+1)(S^2+6J+13)}$$

$$| G(S) = \frac{J}{3+1} + \frac{J}{S^2+6J+13}$$

$$| G(S) = \frac{J}{3+1} + \frac{J}{S^2+6J+13}$$

$$| G(S) = \frac{J}{3+1} + \frac{J}{(S+3)^2+4}$$

$$| G(S) = \frac{J}{S+1} +$$

$$P(3) = \frac{1}{3^{3}} \cdot (1+3) \cdot 10 \cdot (1+\frac{5}{10})$$

$$P(3) = \frac{1}{3^{3}} \cdot (1+3) \cdot 10 \cdot (1+\frac{5}{10})$$

$$P(3) = \frac{1}{3^{3}} \cdot (1+3) \cdot 10 \cdot (1+\frac{5}{10})$$

$$P(3) = \frac{1}{3^{3}} \cdot (1+3) \cdot 10 \cdot (1+\frac{5}{10})$$

$$P(3) = \frac{1}{3^{3}} \cdot (1+3) \cdot 10 \cdot (1+\frac{5}{10})$$

$$P(3) = \frac{1}{3^{3}} \cdot (1+3) \cdot (1+\frac{5}{10}) \cdot (1+\frac{5}{10})$$

$$P(3) = \frac{1}{3^{3}} \cdot (1+3) \cdot (1+\frac{5}{10}) \cdot (1+\frac{5}{10})$$

$$P(3) = \frac{1}{3^{3}} \cdot (1+3) \cdot (1+\frac{5}{10}) \cdot (1+\frac{5}{10}) \cdot (1+\frac{5}{10})$$

$$P(3) = \frac{1}{3^{3}} \cdot (1+3) \cdot (1+\frac{5}{10}) \cdot (1+$$

## 平成31年度 大阪大学基礎工学部編入学試験 [ 知能システム学コース専門科目 ] 試験問題

受	験	番	号	志	望	学	料	٠	7	-	ス
										学	科
201											
						*				7	-7

[知シ専門-2]

## 問題2

以下の間に答えよ. ただし、オペアンプについては入力インピーダンスと電圧増幅率が ∞, 出力インピーダンスが 0 であるとする. ダイオードは理想ダイオードとする.

- (1) 図1に関する以下の小間に答えよ、図中のR,  $R_1$ ,  $R_2$ ,  $R_3$ は抵抗値とする.
  - (1-1) 入力電圧  $v_1(t) = E\sin(\omega t)$  を与えた. 電圧  $v_2(t)$  を求めよ.
  - (1-2) 図1の回路Aを $v_1(t)$ を入力, $v_2(t)$ を出力とする回路とみなした場合,その名称として最も適切なものを選択肢Sから選べ.
  - (1-3) 図1の回路Bを端子Aと端子Bを入力、 $v_3(t)$ を出力とする回路とみなした場合、その名称として最も適切なものを選択肢Sから選べ、

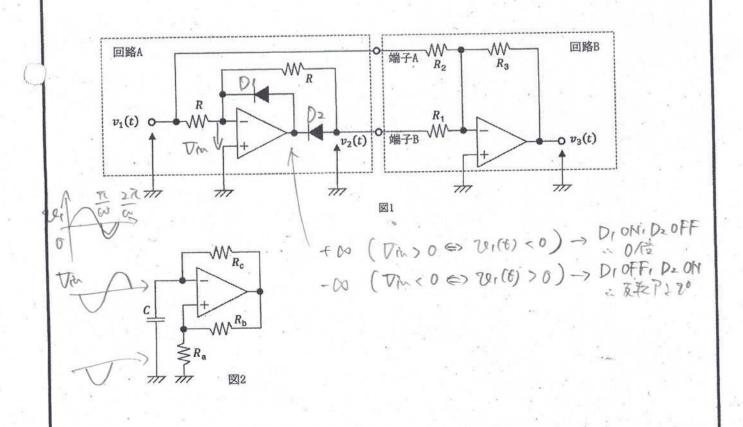
選択肢S

全波整流回路 反転全波整流回路 半波整流回路 反転半波整流回路 加算回路 反転加算回路 減算回路 反転減算回路 乗算回路 反転乗算回路

(二) 一

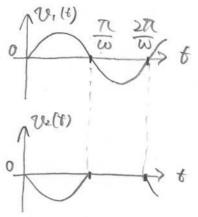
(1-4)  $R_1$ ,  $R_2$ ,  $R_3$  がある関係を満たすとき,出力電圧  $v_3(t)$  が入力電圧  $v_1(t)$  の絶対値と等しくなった。 $R_1$ ,  $R_2$ ,  $R_3$ の関係を求めよ。導出の過程も示せ。

- (2) 図2は発振回路である.発振は定常状態にあり、オペアンプの出力電圧が正の飽和電圧 $E_s>0$  と負の飽和電圧 $-E_s$ で飽和するものとする.以下の小問に答えよ.
  - (2-1) オペアンプの+入力端子, -入力端子, 出力端子のグラウンドに対する電圧変化のグラフを 1 周期分描け.
  - (2-2) 発振周期を抵抗値 $R_{\rm a}$ ,  $R_{\rm b}$ ,  $R_{\rm c}$ , 容量Cを用いて表せ. 導出の過程も示せ.



$$\mathcal{V}_{2}(t) = \begin{cases}
-E \sin(\alpha t) & (0 \le t < \frac{\pi}{\omega}) \\
0 & (\frac{\pi}{\omega} \le t < \frac{2\pi}{\omega})
\end{cases}, \quad \mathcal{V}_{2}(t + \frac{2\pi}{\omega}) = \mathcal{V}_{2}(t)$$

打存版 B (3) 50 大大



UE VATOR

Vo=-Pad

= 7/4 + 2/8

= -P3 ( 200 + P)

111种的飞旗和生世和中日中的代码以前通风概形下处的人一上简色的飞行中于一个大大大人和人们的图片

Est 
$$\frac{1}{2}$$
  $\frac{1}{7}$   $\frac{1}{7}$ 

2 (t) = CES - CES (2POTP) e CPC

POTRI

Delto = ES - ES. 2POTPO e CPC

POTRI

Delto = POED = POTRI

Delto = POT

T = 2 CRc lu 2Raf Rb

(2-1)